

学報

2018年4月 Vol.728



平成29年度学位記授与式を挙

平成29年度学位記授与式を挙	01
平成29年度岐阜大学大学院連合農学研究科並びに連合獣医学研究科学位記授与式を挙	04
行	04
第4回同窓会連合会の集いを開催	05
岐阜大・東北大合同記者会見を実施	06
マリアノ・マルコス州立大学（フィリピン）学長らが森脇学長を表敬訪問	07
「International Symposium on Innovative Crop Protection for Sustainable Agriculture 2018」を開催	08
第2回流域圏保全研究推進セミナー開催報告	09
サンドイッチプログラム報告会および修了式を開催	10
平成29年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム学生報告会に本学留学生2名が参加	11
2017年度金融知識普及功績者表彰を受賞	12
平成29年度第11回学長記者会見を実施	13
平成29年度岐阜大学地域協学センターシンポジウムを開催	14
大学院連合獣医学研究科 市民公開講座「ミツバチと病気」を開催	15
平成29年度岐阜大学流域水環境リーダー育成プログラム修了証書授与式を開催	16
横山理事（総務・財務担当）最終講話を開催	17
芝桜プロジェクトが始動	18
学位授与	19
表彰受賞者	27
産官学連携の実施状況	28
メディア掲載一覧	29
平成29年度（秋季）岐阜大学大学院入学者選抜試験結果	34
平成30年度岐阜大学入学者選抜試験結果	35
平成30年度岐阜大学大学院入学者選抜試験結果	39
平成29年度岐阜大学公開講座の実施結果	41
平成30年度岐阜大学公開講座の実施計画	42
諸会議	43
主要日誌	46
人事異動（学内限定）	47
平成29年度永年勤続者表彰（学内限定）	48

平成 29 年度学位記授与式を挙

3月25日(日)、長良川国際会議場において、平成29年度学位記授与式を行い、学部学生1349人、大学院学生523名が卒業・修了した。

本学を巣立つ卒業・修了生に向けて、森脇学長は「皆さんは岐阜大学の各学部あるいは修士・博士課程で高度なベーシック・サイエンスとアプライド・サイエンスの考え方を勉強されました。その成果は決して学部・課程自体の領域に留まるものではなく、広く人文、社会、自然科学領域全般に応用し、展開を図ることが可能です。皆さんが岐阜大学で修得した叡智をもって広く人類に貢献するという志を持ち、さらに卒業後もさらにキャリアを積み上げて頂きたいと願います。」との言葉を贈り、激励した。

在学生代表として、工学部の高橋 香織さんと地域科学研究科の山田 健三郎さんが送辞を述べ、卒業生代表の教育学部 奥村 若奈さんと修了生代表の応用生物科学研究科 森菜摘さんが答辞としてそれぞれ「得られたものを糧に、一つ一つ乗り越え、前進していきます。」「岐阜大学で学び、究めた客観的・論理的な視点で社会と向き合い、日本の更なる繁栄に貢献していくことが、私たち修了生の使命だと感じています。私たち一人一人が物事の本質を捉え、何ができるかを自覚し、次世代の構築に尽力していく所存であります。」と力強く決意を語った。

この日は、在学期間中において、極めて優秀な学業成績を挙げ、高い評価を受けた学生16名及び学術研究活動において、特に顕著な業績を挙げ、学界又は社会的に高い評価を受けた学生1名、課外活動において、特に顕著な成績を挙げ、課外活動の振興に功績があった学生2名が学長から表彰されました。



学長告辞



森脇学長から学位記を授与

【学長告辞】

第 66 回岐阜大学学位記授与式 及び 平成 29 年度岐阜大学大学院学位記授与式

本日、ここに第 66 回岐阜大学学位記授与式 及び 平成 29 年度岐阜大学大学院学位記授与式を迎える運びとなりました。1349 名の学部卒業生、523 名の大学院修了生、内には学部、大学院合わせて 57 名の留学生、47 名の社会人学生が含まれています。皆さん、誠にありがとうございます。さらに会場には今日まで学生生活を支援して下さった皆様や、ご指導頂いた諸先生方のお姿も大勢拝見できます。如何にも卒業式にふさわしい光景で、お祝いを申し上げる気持ちが一層大きくなります。

さて岐阜大学は 1949 年の創立ですが、前身を遡ると最も古くは 1874 年の岐阜師範学校に至ります。実に 140 年を超える歴史を有するわけで、すでに多くの秀でた先輩を輩出して参りました。先輩の皆さんは日本国内のみでなく、諸外国の教育機関、企業、行政機関など様々な分野で活躍をしていらっしゃいます。私ども岐阜大学の学部、大学院が日本国内でも国際的にも良い評価を受けているのは、諸先輩の活躍があつてのことであり、本日学位を取得された皆さんもその中にこれから参画していくわけですが、ただし皆さんに対する真の評価は、まさに皆さん自身のこれからの活躍にかかっています。その際、特に心がけて頂きたいことを今日は二つ申し上げたいと思います。一つは国際的な視野と地域を見る目、さらに二つ目は自分から様々な領域を切り開き前進する勇気を兼ね備えて頂きたいということです。

まず一点目について、地球上のどのようなところに存在するのであれ、またどのような社会的発展のステージにあるのであれ、国を支える根幹は、特に我が国のように資源に乏しいとされる国を支える根幹は、教育に他なりません。勿論、それぞれの学問領域における教育の切り口は時代とともに変化し、学問領域自体の比重がこれまでと同様に今後とも変遷していくであろうことは言うまでもありません。また教育のみでなく、各種の産業についても同じく、一地域、一国に閉じた状況ではなく、グローバルな視野から何を連携し、或いはどこをどう分担するかという見方が不可欠となりました。本日、卒業された皆さんには、自分の研究テーマや次の進路に限定されることなく、より広い視野からどのような社会貢献ができるのか、国際貢献ができるのかを是非とも考えながら進んでいただきたいと願います。

一方日本国内に目を向けますと、少子高齢化と地域の連関が大きな課題となっています。これはいわゆる先進諸国が遅かれ早かれ直面する問題で、我が国はその先頭を走りながら、一つのモデルを提供していることとなります。このモデルにおける取組みの成果が成功例と認識されるか、失敗と見做されるか、評価基準にはいくつかの切り口があるかと思えます。言い換えれば、個々人がある地域に生きることの幸せを何をもって評価するかについて、様々な見方があるということです。例えば我が国では、その地域に生まれ、育ち、家族とともに老いていくということも、一つのパターンとして望まれることがあります。そのためには地域に仕事があることは勿論、医療、福祉、そして何より地域における教育の充実が、その地域に定住することの必須条件かと思えます。今後、皆さんがどのような

ころで活躍されるのであっても、国際的な視野と、同時に地域を分析的に見る視野の両方を兼ね備えて頂きたいと、改めて期待します。

次に二つ目ですが、これから長い人生を歩いていく上で、自分から様々な領域を切り開き前進する勇気を持ち続けて頂きたいと思います。失敗を恐れることなく、到達目標をしっかりと見定め、自信をもって前進して下さい。昭和の、ある偉大な企業経営者は「仮に失敗を経験したとしても、最終的に目標を達成出来れば、それは失敗ではない」と言っています。ただし何らかの取り組みを進める上では、各ステップごとに十分以上に周囲を観察し、手段を考え抜くことが重要です。私自身が指導して頂いたイギリスの科学者は、研究を例にとって「thinking, thinking, thinking, and one experiment」と教えてくれました。失敗を恐れず目標に立ち向かう熱意と、その熱意と表裏一体の関係にある熟慮を、皆さんには持ち続けて頂きたいと願います。

今日卒業する皆さんは岐阜大学の各学部あるいは修士・博士課程で高度な基礎科学と応用科学の考え方を勉強されました。そこで習得された考え方は決して学部・課程自体の領域に留まるものではなく、広く人文科学、社会科学、自然科学の全般に応用し、展開を図ることが可能です。皆さんには、岐阜大学で修得した叡智とともに、志を高く掲げ、開拓精神を持って、社会に対する貢献、国際貢献、広く人類に対する貢献をスタートさせて頂きたいと願います。岐阜大学のホームページには昨年小生がノーベル物理学賞受賞者の益川敏秀先生と対談させて頂いた折の、先生からのメッセージが掲載されています。「若い人には、憧れとロマンを持ってほしい。それに近づく努力が成長への力になる」です。この言葉を皆さんにお伝えするとともに、近い将来、遠い将来を問わず、地球上の何処かで皆さんのご活躍ぶりを見聞できることを心より楽しみにしていると申し上げ、告辞と致します。

本日は誠にありがとうございました。

2018年3月25日

岐阜大学長 森脇久隆

平成29年度岐阜大学大学院連合農学研究科
並びに連合獣医学研究科学位記授与式を挙

3月13日(火)、本学講堂において、平成29年度岐阜大学大学院連合農学研究科並びに連合獣医学研究科学位記授与式を行い、両研究科の博士課程及び論文博士の修了者一人ひとりに森脇学長から学位記の授与を行った。

当日は、来賓として、連合大学院の構成大学である静岡大学、帯広畜産大学、岩手大学及び東京農工大学より、学長、理事、農学部長等が参列し、本学からも、学長、理事、副学長、該当する研究科長等が参列した。

両研究科の修了者数は下記のとおりである。

連合農学研究科 博士課程 6名

連合獣医学研究科 博士課程 14名、論文博士 8名



学位授与式の様子



森脇学長告辞



連合農学研究科 集合写真



連合獣医学研究科 集合写真

第4回同窓会連合会の集いを開催

3月3日（土）に、第4回同窓会連合会の集いを開催した。

本行事は、各学部同窓会会員に対し大学の近況を報告するとともに、それぞれの学部同窓会の状況を意見交換することにより、相互の理解を深め、大学と同窓会との連携及び学部同窓会間の連携をより一層推進することを目的として開催している。

今回も、冒頭に同窓会連合会の吉田会長及び森脇学長から挨拶があり、その後、鈴木副学長・理事（国際・広報担当）から、この半年間の岐阜大学の動向等についての説明があった。

続いて、学部の活動報告として、本学大学院医学系研究科組織・器官形成分野の手塚建一准教授から「親知らずから iPS 細胞～世界へ届ける再生医療～」と題した講演がありました。

また、各同窓会から活動報告等の意見交換が行われました。

最後に、横山理事・副学長（総務・財務担当）から「岐阜大学創立 70 周年記念事業の進捗状況」について説明がありました。

行事終了後には医学部生協食堂において懇親会が行われました。集いに続いて多くの方にご参加いただき、活発な交流が行われ、有意義な会となりました。



挨拶する吉田会長



挨拶する森脇学長



講演する手塚准教授



講演の様子

岐阜大・東北大合同記者会見を実施

3月6日（火）に、ステーションコンファレンス東京 サピアタワー内（東京都千代田区）にて岐阜大・東北大合同記者会見を実施した。

今回は、本学大学院医学系研究科循環病態学分野の湊口信也教授と東北大学大学院医学系研究科細胞組織学分野の出澤教授らの研究グループが共同で Muse 細胞と呼ばれる幹細胞を点滴投与すると急性心筋梗塞モデルのウサギの梗塞組織に働き、分化することで心筋梗塞サイズの縮小と心機能が回復したことを発表した。

この発表により、現在の心筋梗塞の治療法に加え、新しい治療になる可能性が示唆された。



記者会見の様子



湊口教授の説明の様子

マリアノ・マルコス州立大学（フィリピン）学長らが森脇学長を表敬訪問

3月7日（水）に、フィリピンのマリアノ・マルコス州立大学から Shirley C. Agrupis 学長、Engr. Ami Ruth R. Cocson 副学長らが森脇学長を表敬訪問した。

マリアノ・マルコス州立大学はフィリピンの北イロコス州に1978年に設置された総合大学である。Shirley C. Agrupis 学長は2000年に本学連合農学研究科を修了し、2017年に学長へと就任された。

懇談の中で、Shirley C. Agrupis 学長から今後、本学と大学間協定を締結し、研究者や学生の交流を活発に行っていきたいという旨の話があった。

また、森脇学長からは本学の修了生がこのように活躍されているのは大変喜ばしいことであり、今後マリアノ・マルコス州立大学との交流を大切にしていきたいという旨の話があった。

本学とマリアノ・マルコス州立大学は、今後様々な分野で交流していくことが期待される。



訪問の様子



集合写真

「International Symposium on Innovative Crop Protection
for Sustainable Agriculture 2018」を開催

岐阜大学大学院連合農学研究科（博士課程）は、平成30年3月7日（水）～8日（木）に連合大学院研究科棟にて、「Innovative Crop Protection for Sustainable Agriculture」をテーマに International Symposium 2018 を開催した。

初日の7日（水）には、千家正照研究科長の挨拶、鈴木文昭岐阜大学理事（国際・広報担当）の歓迎メッセージの後、Mariano Marcos State University の Shirley 学長（フィリピン：連合農学研究科修了生）の Special Guest Speech があり、その後2日間にわたって、名古屋大学の千葉壮太郎特任准教授、農研機構中央農業研究センター病害研究領域グループ長の吉田重信博士及び岐阜大学の須賀晴久准教授、清水将文准教授による基調講演や IC-GU12 加盟大学関係者及び在外の連合農学研究科修了生の応募者から選抜された外国人研究者18名（インドネシア、タイ、バングラデシュ、修了生10名を含む）による植物保護技術に関する最新の研究成果の発表があり、質疑応答を含め活発な研究討論が行われた。また、この様子は静岡大学にテレビ会議システムで配信された。

あわせて、岐阜大学の植物病理学関連の研究室に所属する学生及び教員の計10名、国費外国人留学生13名（うち1名は静岡大学）と名古屋大学の学生1名がポスター発表を行い、出席した研究者との研究交流を図った。

シンポジウムの参加者は総勢97名で大変盛り上がり、有意義なシンポジウムとなった。なお、このシンポジウムは岐阜観光コンベンション協会の支援を受けて運営した。



シンポジウム参加者全員の集合写真



千家正照研究科長の挨拶



シンポジウム質疑応答風景



ポスターセッション風景

IC-GU12：岐阜大学の呼びかけで形成された「南部アジア地域における農学系博士教育連携コンソーシアム」の略称

第2回流域圏保全研究推進セミナー開催報告

流域圏科学研究センターでは、流域圏の総合的な解明と将来変動予測、生態系サービスと自然災害リスクの評価などの分野融合的な研究を通じて持続可能な流域圏の実現に資する「流域圏保全学」の創生を目指して、関連研究コミュニティとの共同研究と人材育成を推進しており、その活動の一環として、3月8日(木)と9日(金)に国際シンポジウム「2nd International symposium of river basin studies -towards the interdisciplinary study of the sustainable utilization and management of river basin systems-」を含む「第2回流域圏保全研究推進セミナー」を柳戸キャンパスで開催した。

初日は、栗屋センター長と福士理事の挨拶で始まり、7件の研究成果報告と高山試験地、流域水環境リーダー育成プログラム、共同研究支援室の活動報告が行われた。

2日目の国際シンポジウムは、森脇学長の挨拶で始まり、中国からの講演者を含む4件の招待講演と27件のポスター発表が実施された。

2日間の参加者は学外者19名を含む合計61名(内、留学生12名)で、学術分野や国・地域を横断した意見交換と新たな共同研究の発案が活発に行われた。

今後も同センターでは、関連研究コミュニティと共同研究を推進し、流域圏保全研究推進セミナーを毎年開催することにより、当該分野の醸成を促進することとしている。



招待講演者による特別講演の様子



ポスター発表の様子

サンドイッチプログラム報告会および修了式を開催

岐阜大学大学院連合農学研究科では、平成30年3月14日（水）に参加者15名の下、サンドイッチプログラム報告会および修了式を開催した。

本プログラムは、IC-GU12加盟大学15校の博士課程の学生を特別研究学生として6か月間受入れ、本研究科と加盟大学との教育・研究連携を促進することを目的としている。

報告会では、中野専任教員の挨拶のあと、スブラス・マレット大学1名、ガ ज्याマダ大学1名、チュラロンコン大学1名、アッサム大学1名、インド工科大学グワハティ校1名の特別研究学生が自身の研究内容や日本での生活について発表し、報告会参加者との間で活発な議論が交わされた。また、修了式では、平松国際化担当研究科長補佐より特別研究学生へサンドイッチプログラム修了証および講義の受講証明書の授与が行われた。

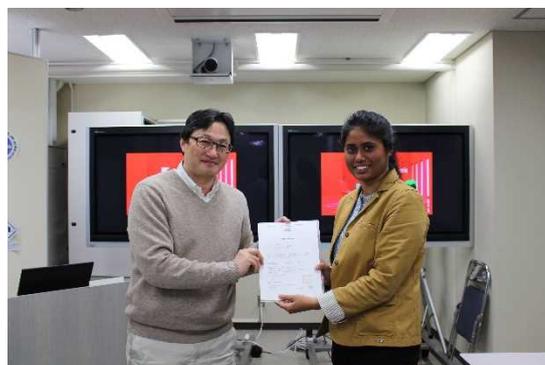
今回の経験は、特別研究学生の論文作成の助けとなっただけではなく、日本人学生にとっても彼らと共に過ごした時間は異文化交流を理解する上で有意義なものとなり、将来の国際交流を広げる可能性が感じられた。

〈サンドイッチプログラム内容〉

1. 専門分野の教員による研究指導
2. 本研究科の講義を受講 ※単位認定はできないが、受講証明書を発行する。
3. 報告会にて研究成果を発表
4. プログラム修了証明書を発行
5. 在籍時に研究指導を受けた内容を論文にする場合、指導教員を共著者とする。



研究発表をする特別研究学生



修了証授与

平成29年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム学生報告会に本学留学生2名が参加

「平成29年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム※学生報告会」が、3月15日(木)、名古屋大学経済学部・研究科棟講義室で開催され、本学留学生のラナトゥンガ アラッチゲ タランギカ ラナトゥンガさん(連合農学研究科3年)、マイナー エスター ワマイザさん(工学研究科博士課程1年)の2名が参加した。

本報告会では、名城大学キャリアセンター犬飼 斉事務部長による開会挨拶ののち、コンソーシアムの3機関から集まった4名の参加者が約5分間のスピーチを行い、留学生は留学生就職促進プログラムでの参加内容や日本での就職活動の現状、就職活動を通してそれぞれ感じたメッセージについて、発表した。

報告者の発表後、名古屋大学土井康裕総長補佐のファシリテーターによる質疑応答が行われた。日本で就職するにあたって日本語が壁になっていること、第2外国語である英語が母国語に近い言語であるという認識があること、家族で生活するには東京より環境が良い愛知県や岐阜県での就職を希望すること等留学生のざっくばらんな意見を聞くことができた。

最後に、本学グローバル推進本部小山博之副本部長による閉会挨拶が行われ、盛会のうちに報告会を終了した。

愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業を進めるにあたり、本報告会で聞くことができた留学生の意見をフィードバックさせた取組みを行っていく予定である。



ラナトゥンガ アラッチゲ タランギカ ラナトゥンガさんの発表の様子



質問に答えるマイナー エスター ワマイザさん

※ 「愛岐留学生就職支援コンソーシアム」は、留学生就職促進プログラムの事業目的に賛同した愛知及び岐阜県下の大学、地方公共団体、経済団体及び企業支援団体が連携し、留学生の国内就職支援を行うことを目的として平成29年9月11日に設立された。

2017年度金融知識普及功績者表彰を受賞

本学教育学部家政教育の大藪千穂教授が2017年度金融知識普及功績者表彰を受賞した。

金融知識普及功績者表彰は、金融及びその背景となる経済についての教育活動をより一層推進するため、国民の金融に係る知識の普及・向上に功績のあった者及び団体に対して、その功績を顕彰するものである。

大藪教授は大学教授としての知見や経験を活かし、小学生から高齢者までの幅広い年代を対象に、独自に作成した教材を用いるなどの工夫をしながら、積極的に講演を行うほか、教員向けの指導も行うなど、金融知識の普及・向上に貢献したとして受賞した。

3月16日（金）には、この表彰について学長報告が行われた。

大藪教授は「人生設計ゲームという独自に作成した教材を使って小学校2年生から教え、自分のお金は自分でやり繰りする感覚を身につけさせている」と報告し、森脇学長は、「幼い頃から金銭感覚を養うことはとても良いことであり、学生が卒業して社会に出ても役立つ教育である」と称えた。



学長報告の様子



記念写真

平成29年度第11回学長記者会見を実施

本学は、3月16日（金）に、平成29年度第11回学長記者会見を地域協学センターにて実施した。

今回の会見では、森脇学長から「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）中間評価結果」について、「岐阜大学の将来ビジョン」と関連させて説明を行った後、福士理事（学術研究・情報担当）・副学長からCOC+について概要の説明のあと、益川地域協学センター長から本学のCOC+の「岐阜でステップ×岐阜にプラス 地域志向産業リーダーの協働育成」事業の特色を紹介した。

事業は岐阜大学単独で行っているのではなく、他大学及び岐阜県やその他企業とコンソシアムを設置し、産業界ニーズにより適合した人材育成や、産官学共同研究を通じた事業拡大等による雇用創出の促進に協働して取り組んでいることが報告され、All Gifu体制で地域創生に取り組んでいることが強調された。

「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」と「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の事業の中間評価結果がともにS評価であったのは全国で2大学だけである。

また、センターのプログラムである次世代地域リーダー育成プログラムの修了者の学生2名から学生の視点から捉えた本プログラムを受講しての感想や活動の状況が報告された。

本事業により岐阜大学がますます「地域活性化の中核拠点」として動き出すことが報告された。



森脇学長による将来ビジョンを用いて説明する様子



記者会見の様子

平成 29 年度岐阜大学地域協学センターシンポジウムを開催

平成 30 年 3 月 23 日（金）に、岐阜大学が推進している「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」及び「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」における教育・研究・社会貢献の活動報告および成果を広く学内外に向けて発信し、『地域活性化の中核拠点』として地域とともに活動・取組みを一層推進することを目指し、「地域活性化の中核拠点を目指して」をテーマとして地域協学センターシンポジウムを開催（講堂：参加者約 120 人）した。

シンポジウムの冒頭では、次世代地域リーダー育成プログラム修了証書・称号授与式が行われた。同プログラムの修了者である 40 人の学生に修了証が授与されたほか、学生コーディネーターの称号が 41 人の学生に、ぎふ次世代地域リーダーの称号が 23 人の学生に授与された。

次いで松井聡羽島市長より来賓挨拶をいただいた後、平成 29 年度の取組み紹介として、地域志向学プロジェクトの成果報告、地域コーディネーターの活動報告、次世代地域リーダー育成プログラム上級段階科目受講生による活動報告、COC+参加大学（中部学院大学、日本福祉大学）の学生による活動報告があった。

続いて「元気な地域をつくるために～それぞれの立場でできること～」をテーマに、岐阜県出身であるフリーアナウンサーの草野満代氏を招き、トークセッションを行った。トークセッションには、地域代表として松井聡羽島市長、学生代表として次世代地域リーダー育成プログラム修了生（教育学部 4 年）、大学代表として福士秀人理事・副学長が登壇し、草野氏の進行のもと、それぞれの立場から地域に対する思い、貢献できることなどを語った。

今回のシンポジウムでは、学内関係者に加え、岐阜県内自治体、他大学からの参加があり、学内外に向けて本学の成果を広く発信することができた。



次世代地域リーダー育成プログラム
修了証書・称号授与式



修了証授与式後の集合写真



松井聡羽島市長による来賓挨拶



トークセッションの様子

大学院連合獣医学研究科 市民公開講座「ミツバチと病気」を開催

岐阜大学大学院連合獣医学研究科は、3月23日（金）、岐阜大学サテライトキャンパスにおいて、市民公開講座「ミツバチと病気」を開催し、岐阜県医師会、岐阜県獣医師会、岐阜県、養蜂関係者を含む約70名の参加があった。

本公開講座は、本学連合獣医学研究科が獣医学研究における最新的话题をテーマにし、市民および地域の医療、獣医療の関係者に情報を提供し、地域の方々と率直な意見交換を行うことを目的に年1回開催しているもので、今回が5回目の開催である。

今回は、岐阜県が『近代養蜂発祥の地』であり、県内のミツバチの飼育戸数は384戸（第4位）、蜂群数6200群（第10位）、ハチミツ生産量も122トン（第9位）で、全国的にも養蜂の盛んな地域であることから、地域連携の強化を目的に、法定伝染病と届出伝染病を含むミツバチの感染症から幼児ボツリヌス症といったミツバチやその生産物に関わる病気をテーマとして行った。

講座は、本学応用生物科学部教授・土田浩治による「ミツバチの病気の伝播」、埼玉県農林部畜産安全課主査・荒井理恵氏による「アメリカ腐蛆病とヨーロッパ腐蛆病」、東京農業大学教授（元厚生労働省国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部長）・五十君静信氏による「蜂蜜と幼児ボツリヌス症」の講演の後、総合討論が行われた。総合討論では、多数の参加者から活発な質疑応答があり、市民、地域の医療・獣医療関係者及び地域産業関係者の方々との交流を図る有意義な機会となった。



総合討論の様子

平成 29 年度岐阜大学流域水環境リーダー育成プログラム修了証書授与式を開催

岐阜大学は、3月25日（日）、平成29年度岐阜大学流域水環境リーダー育成プログラム修了証書授与式を森脇学長，プログラム統括委員会委員，工学研究科長，連合農学研究科長ほか出席のもと長良川国際会議場において開催した。

本年度は，博士課程2名（インドネシア1名，スリランカ1名），修士課程12名（日本5名，中国3名，インドネシア3名，バングラデシュ1名）が本プログラムを修了した。

森脇学長は修了生一人ひとりにプログラム修了証書を授与し，英語で祝辞を贈り激励した。

その後，修了生代表として，Tharangika Ranatunga（タランギカ・ラナトゥンガ）さん（連合農学研究科博士課程，スリランカ）と渡邊 光太さん（工学研究科博士前期課程，日本）が英語で答辞を行うとともに今後の抱負について語った。

本プログラムは，アジア・アフリカ諸国が直面する水質・水資源・生態などの流域水環境に関わる様々な問題を多角的な視野で的確に理解し，戦略的な解決策と発生防止策を設計・施行する環境リーダーを育成している。平成21年度から平成25年度までの5年間は科学技術戦略推進費による「戦略的環境リーダー育成拠点形成事業」の採択事業として実施され，以降は大学独自で継続発展をはかっている。今回を含めて171名が修了し，アジアの国々で環境リーダーとして活躍している。



<プログラム修了証書授与>



<学長祝辞>



<学生答辞>



<学生答辞>



<記念撮影>

横山理事（総務・財務担当）最終講話を開催

平成30年3月27日（火）、講堂にて3月末にて退職される横山理事（総務・財務担当）・副学長の最終講話が開催された。

最終講話では、「前略 横山正樹殿、君は岐阜大学に何を伝えたかったのか。」という題目で、横山理事の仕事についての歩みを振り返りながら、主に岐阜大学での7年間で語った。

横山理事は「困難から逃げ出さない。小さなことでも積極的にアイデアを出す。足を止めず、常に考える。」という心構えで理事として岐阜大学より良くするために尽力された。

その思いから、講話の最後に岐阜大学の教職員へ「可能性への追求と一歩踏み出す勇気」を大切にしてほしいというメッセージを語った。

約250名の参加者は熱心に聞き入り、メモをとる姿も見られた。

最後に、森脇久隆学長から横山理事への挨拶があり盛況のうちに終了した。



熱く語る横山理事（総務・財務担当）・副学長

芝桜プロジェクトが始動

2018年3月28日(水)、芝桜プロジェクトとして、岐阜大学応用生物科学部玄関前の土手に芝桜を約1,000株植え付けた。

芝桜プロジェクトとは、美観と雑草防止を目的に応用生物科学部の福井博一教授が企画したプロジェクトである。昨年5月から岐阜大学応用生物科学部附属農場で株を増やしてきた。順調に株が増え、植え付けの適期を迎え、応用生物科学部の教職員有志で植え付け作業を行った。

芝桜は、4月から5月が開花時期であり、今はまだ、花数は少ないが、数年後満開になった姿が今から楽しみである。満開になると、花が広がり絨毯のようになる予定である。



植え付けの様子



現在の芝桜

学位授与

学位の種類	学位記番号	氏名	授与年月日	学位論文名
甲第494号	博士(獣医学)	長 沼 悟	平成30年3月13日	ヒスタミンによるハムスター胃運動調節機構に関する研究
甲第495号	博士(獣医学)	田 路 矩 之	平成30年3月13日	ウシ栄養膜細胞が産生する特異的分子および栄養膜二核細胞の特性に関する研究
甲第496号	博士(獣医学)	中 森 裕 之	平成30年3月13日	下行性セロトニン神経による脊髄排便中枢を介した大腸運動制御に関する研究
甲第497号	博士(獣医学)	水 上 さやか	平成30年3月13日	ゲノムのメチル化変動に着目した肝発がん物質に共通する発がん機序に関する研究
甲第498号	博士(獣医学)	渡 邊 洋 祐	平成30年3月13日	DNA直接損傷とエピゲノム修飾変動に起因する海馬における神経新生の障害機序の比較に関する研究
甲第499号	博士(獣医学)	倉 地 卓 将	平成30年3月13日	日本における犬の不安行動に影響する要因の研究
甲第500号	博士(獣医学)	Yassien Ahmed Yassien Badr	平成30年3月13日	Molecular Biological Studies on the Roles of UL11 Protein in the Equine Herpesvirus 1 Neurovirulent Strain Ab4p Replication (ウマヘルペスウイルス1型神経病原性株Ab4p増殖におけるUL11タンパク質の役割に関する分子生物学的研究)
甲第501号	博士(獣医学)	中 川 賢 人	平成30年3月13日	L遺伝子欠損ウイルスを用いた狂犬病ウイルスRNAポリメラーゼL蛋白質の分子機能解析

甲第502号	博士(獣医学)	江川 和孝	平成30年3月13日	Development of Pteropine Orthoreovirus Infection Mouse Model and its Application for Evaluation of Therapeutics and Preventive Measures (プテロパインオルソレオウイルス感染マウスモデルの開発とその治療・予防法の評価への応用)
甲第503号	博士(獣医学)	Kim Yohan	平成30年3月13日	Studies on Changes in Ruminal pH and Microbiota, and Epithelial Transcriptomic Adaptation in Weaning Calves (離乳子牛における第一胃液pHと微生物叢の変化および粘膜上皮の遺伝子適応に関する研究)
甲第504号	博士(獣医学)	窪 友瑛	平成30年3月13日	オキシトシン負荷試験による牛の超早期妊娠診断法開発に関する研究
甲第505号	博士(獣医学)	合屋 征二郎	平成30年3月13日	僧帽弁閉鎖不全症モデル犬における左室圧容量曲線解析法を応用した麻酔時心血管機能解明に関する研究
甲第506号	博士(獣医学)	LARASATI PUJI RAHAYU	平成30年3月13日	Studies on the Clinical Application of Kisspeptin Analog and Neurokinin B Receptor Agonist to Improve Reproductive Performance in Goats (ヤギにおける繁殖性向上のためのキスペプチン類縁物質およびニューロキニンB受容体作動薬の臨床応用に関する研究)
甲第507号	博士(獣医学)	朝比奈 良太	平成30年3月13日	Studies on the Pathophysiological Roles of Interleukin-33 in Canine Atopic Dermatitis (犬アトピー性皮膚炎の病態生理におけるInterleukin-33の役割に関する研究)
乙第154号	博士(獣医学)	堀 卓也	平成30年3月13日	マウスのストレス応答を用いた超低周波電界の生物学的作用とその用量依存性に関する研究
乙第155号	博士(獣医学)	VUDRIKO,Patrick	平成30年3月13日	Studies on Control of Acaricide Resistant Ticks in Uganda (ウガンダ共和国における薬剤耐性マダニの対策法に関する研究)
乙第156号	博士(獣医学)	宮越 大輔	平成30年3月13日	サラブレッド雌馬の生産性向上のための交配から妊娠早期までの繁殖管理の改善に関する研究

乙第157号	博士(獣医学)	溝部文彬	平成30年3月13日	サラブレッド種競走馬の下部部疾病に対する低磁場立位MRI装置を用いた臨床診断に関する研究
乙第158号	博士(獣医学)	後藤昭彦	平成30年3月13日	高脂溶性薬物の体内動態に対する体脂肪減少の影響評価
乙第159号	博士(獣医学)	恩田伸彦	平成30年3月13日	顕微鏡観察技術を用いた近赤外蛍光プローブの腫瘍イメージング原理の解析に関する研究
乙第160号	博士(獣医学)	寒川彰久	平成30年3月13日	マイクロミニピッグにおける生殖器の発達と特徴に関する組織学的研究
乙第161号	博士(獣医学)	川瀬 遵	平成30年3月13日	食中毒菌の網羅的迅速遺伝子検出法の実用化に関する研究
甲第683号	博士(農学)	Napassawan LIAMNIMITR	平成30年3月13日	Improvement of Fresh Produce Storability by Packaging and Hyperbaric Treatment Based on Modification of Environmental Gases Partial Pressure (環境ガス分圧の修正に基づく包装および圧力処理による青果物の貯蔵性向上)
甲第684号	博士(農学)	Ranatunga Arachhige Tharangika Ranatunga	平成30年3月13日	Controlling the Process of Denitrification in Flooded Rice Soils by Using Microbial Fuel Cell Applications (微生物燃料電池を援用した湛水水田土壌における脱窒過程の制御)
甲第685号	博士(農学)	Methavee Peanparkdee	平成30年3月13日	Extraction and Encapsulation of Bioactive Compounds from Agricultural Byproducts in Thailand (タイ国農業副産物からの生理活性物質の抽出およびそのカプセル化に関する研究)
甲第686号	博士(農学)	Andriyana Setyawati	平成30年3月13日	Inhibiting Melanin Biosynthesis of Indonesian Medicinal Plant Extracts (インドネシア薬用植物抽出物のメラニン生合成阻害に関する研究)

甲第687号	博士(農学)	中本 航介	平成30年3月13日	新規がん抑制遺伝子型microRNAの探索と創薬への展開 (Exploring of a Novel Antitumor MicroRNA and Development of MicroRNA Drugs)
甲第688号	博士(農学)	八神 奈帆子	平成30年3月13日	二環性糖供与体による立体選択的グリコシル化反応の開発と糖脂質合成への応用 (Study on Stereoselective Glycosylation Using Bicyclic Glycosyl Donors and Its Application for the Synthesis of Glycolipids)
甲第689号	博士(農学)	朝魯門	平成30年3月31日	乾燥・半乾燥地域における農牧業の経営展開と環境政策の課題 — 中国内モンゴル自治区を事例に — (The Development of Husbandry in Arid and Semi-Arid Areas and Environmental Policy Issues : A Case Study of Inner Mongolia Autonomous Region of China)
甲第690号	博士(農学)	望月 貴治	平成30年3月31日	地上レーザスキャナを用いた葉クラスター階層構造の生態学的評価—成木樹冠スケールでの光利用戦略— (Ecological Evaluation of the Hierarchical Leaf-Cluster Structure using a Terrestrial Laser Scanner: Light Capture Strategies at the Tree Crown Scale)
甲第691号	博士(農学)	楠 和隆	平成30年3月31日	Elucidation of Aluminum Tolerance Mechanisms in <i>Arabidopsis thaliana</i> by Genome-wide Analysis of Expression Level Polymorphisms (ゲノムワイドな遺伝子発現多型解析によるシロイヌナズナのアルミニウム耐性機構の解明)
連創博甲第 40 号	博士(薬科学)	長屋 優貴	平成30年3月25日	RNA創薬を目指した塩基部欠損ヌクレオシドを有する核酸オリゴマーの合成
連創博甲第 41 号	博士(薬科学)	則定 純平	平成30年3月25日	新規高感度定量法を用いた小胞体ストレス応答性因子 mesencephalic astrocyte-derived neurotrophic factor とその paralog の性状解析
連創博甲第 42 号	博士(医科学)	松丸 直樹	平成30年3月25日	脊髄性筋萎縮症患者の運動機能を定量的に評価する新規指標の開発
工博甲第529号	博士(工学)	KHALED SAEED MOHAMED AHMED	平成30年3月25日	Design of multimodal and integrated transit services toward more sustainable society (持続可能な社会に向けたマルチモーダル/統合型公共交通サービスの設計)

工博甲第530号	博士(工学)	ANGGA AFRINALDI	平成30年3月25日	Fatigue properties of friction stir processed non-combustible Mg alloy and Mg-based metal matrix composite (摩擦攪拌改質した難燃性Mg合金およびMg合金基複合材料の疲労挙動)
工博甲第531号	博士(工学)	高木 雄介	平成30年3月25日	多面的アプローチによるRC構造物のASR劣化への包括的対策 (Comprehensive measures for ASR degradation of RC structures by a multiphasic approach)
工博甲第532号	博士(工学)	村田 真伸	平成30年3月25日	有限要素法逆解析を用いた切欠付丸棒引張試験における大ひずみ域の流動応力同定 (Flow stress identification in large strain range using FEM inverse analysis on notched round bar tensile test)
工博甲第533号	博士(工学)	ANTONI PARDEDE	平成30年3月25日	Isolation of secondary metabolites from medicinal plants and invasive alien species and their biological activities (薬用植物や特定外来生物に含まれる二次代謝産物の単離およびそれらの生理活性の評価)
工博甲第534号	博士(工学)	RADHIA PUTRI	平成30年3月25日	Development of monolithic columns for digestion of proteins and separation of dansyl amino acid enantiomers in capillary liquid chromatography (キャピラリー液体クロマトグラフィーにおけるタンパク質消化およびダンシルアミノ酸対掌体の分離のためのモノリスカラムの開発)
工博甲第535号	博士(工学)	NGO QUANG THIN	平成30年3月25日	Constraints on the EOS of neutron star matter based on observations (観測に基づく中性子星物質の状態方程式に関する制約)
工博甲第536号	博士(工学)	三和 寛之	平成30年3月25日	シリコン太陽電池における光学構造の形成とパッシベーション膜の電気的特性の均質化による発電特性の向上 (Improvement of photovoltaic properties of Si solar cell by forming optical structure and homogenization of electrical characteristics)
工博甲第537号	博士(工学)	金原 慎二	平成30年3月25日	ダブルストレンジネス核における娘核の電荷識別法 (Charge identification of decay daughter nucleus for double strangeness nuclei)
工博甲第538号	博士(工学)	久野 敬司	平成30年3月25日	高圧力下における金属水素化物のRaman散乱測定による結晶構造の研究 (High-pressure Raman spectroscopic study of metal hydrides)

工博甲第539号	博士(工学)	RAHMA YANDA	平成30年3月25日	Flow characteristics over gravel- and cobble-bed streams in shallow conditions (石礫床河川の浅い流れの水理学的特性)
乙第1494号	博士(医学)	加藤 成一	平成30年3月20日	Decrease of bone mineral density in Japanese patients with non-metastatic prostate cancer treated with androgen deprivation therapy (日本人の非転移性前立腺癌患者におけるアンドロゲン除去療法に伴う骨密度の減少)
甲第1058号	博士(再生医科学)	SAYED AHMAD ZIKRI BIN SAYED ALUWEE	平成30年3月20日	Developments of 3D Virtual Visualization and 3D Printing Models Based on MR Images for Supporting Uterine Removal Surgery (子宮摘出手術支援のためのMR画像に基づく3次元仮想表示と3Dプリンターモデルの開発)
甲第1059号	博士(医学)	本田 諒	平成30年3月25日	The native state of prion protein (PrP) directly inhibits formation of PrP-amyloid fibrils in vitro. (プリオン蛋白質の天然状態のアミロイド形成阻害能)
甲第1060号	博士(医学)	大沼 隆史	平成30年3月25日	Sphingosine 1-phosphate (S1P) suppresses the collagen-induced activation of human platelets via S1P4 receptor (スフィンゴシン1-リン酸(S1P)はコラーゲン刺激によるヒト血小板の活性化をS1P4受容体を介して抑制する)
甲第1061号	博士(医学)	小西 希恵	平成30年3月25日	Dietary magnesium intake and the risk of diabetes in the Japanese community: results from the Takayama study (マグネシウム摂取と糖尿病リスク: 高山スタディ)
甲第1062号	博士(医学)	杉山 智彦	平成30年3月25日	Carbon dioxide insufflation reduces residual gas in the gastrointestinal tract following colorectal endoscopic submucosal dissection (大腸内視鏡的粘膜下層剥離術において二酸化炭素送気は消化管内の残留ガスを減少させる)
甲第1063号	博士(医学)	鷹尾 千佳	平成30年3月25日	Downregulation of ARID1A, a component of the SWI/SNF chromatin remodeling complex, in breast cancer (SWI/SNFクロマチンリモデリング複合体であるARID1Aの乳癌における発現低下)
甲第1064号	博士(医学)	高木 大介	平成30年3月25日	Evaluation of a new rebound self-tonometer, Icare HOME: comparison with Goldmann applanation tonometer (新しい手持ち自己眼圧測定計 IcareHOMEの評価: ゴールドマン眼圧計との比較)

甲第1065号	博士(医学)	竹中 基記	平成30年3月25日	Iron regulatory protein 2 in ovarian endometrial cysts. (卵巣内膜症嚢胞におけるIron regulatory protein 2(IRP2))
甲第1066号	博士(医学)	西田 崇	平成30年3月25日	Protective effects of fluoroquinolones on UV-induced damage of cultured ocular cell lines (紫外線照射により障害を受けた眼培養細胞に対するフルオロキノロン系抗菌薬添加による保護作用の検討)
甲第1067号	博士(医学)	長谷川 恒輔	平成30年3月25日	Analysis of Primary and Metastatic Tumor in Fluorescent Protein Expressing Metastasis Mouse Model. (蛍光タンパク質発現癌転移マウスモデルにおける原発巣と転移巣の解析) (1) Imaging Nuclear-Cytoplasmic Dynamics in Primary and Metastatic Colon Cancer in Nude Mice (大腸癌モデルマウスの原発巣と転移巣における細胞核と細胞質の動態イメージング) (2) Imaging the Role of Multinucleate Pancreatic Cancer Cells and Cancer-Associated Fibroblasts in Peritoneal Metastasis in Mouse Models (膵癌マウスモデルの腹膜播種巣における多核膵癌細胞と癌関連線維芽細胞の役割についてのイメージング)
甲第1068号	博士(医学)	武内 勝章	平成30年3月25日	TMEM207 hinders the tumor suppressor function of WWOX in oral squamous cell carcinoma. (TMEM207は口腔扁平上皮癌において、WWOXの腫瘍抑制機能を妨げる。)
甲第1069号	博士(医学)	堀江 憲吾	平成30年3月25日	Exosomes expressing carbonic anhydrase 9 promote angiogenesis (Carbonic anhydrase 9を発現するエクソソームによる血管新生促進機構)
甲第1070号	博士(医学)	松本 淳	平成30年3月25日	Traditional thermal therapy with indirect moxibustion decreases renal arterial resistive index in patients with chronic kidney disease. (温灸を用いた温熱療法による慢性腎病患者の腎血管抵抗指数の減少効果)
甲第1071号	博士(医学)	森 健一	平成30年3月25日	Cedar pollinosis and mortality: A population-based prospective cohort study in Japan (スギ花粉症と死亡との関連: 日本における前向きコホート研究)
甲第1072号	博士(医学)	木野村 祐二朗	平成30年3月25日	Endogenous adenosine may be related to left ventricular dysfunction, dilatation, and wall thinning in patients with heart disease (内因性アデノシンが心疾患患者における左心室機能不全、拡張や肥大に関与している可能性がある)

甲第1073号	博士(医学)	丸田 明範	平成30年3月25日	Comparison of late adverse events after endoscopic sphincterotomy versus endoscopic papillary large balloon dilation for common bile duct stones: A propensity score-based cohort analysis (総胆管結石症に対するESTとEPLBDの長期予後における比較検討)
甲第1074号	博士(医学)	湊口 信吾	平成30年3月25日	Evaluation of Systolic and Diastolic Properties of Hypertensive Heart Failure Using Speckle Tracking Echocardiography with High Volume Rates (3Dスペックルトラッキングエコーを用いた高血圧性心不全患者の左室収縮能および拡張能の評価)
甲第1075号	博士(医学)	吉倉 延亮	平成30年3月25日	Anti-C1q autoantibodies in patients with neuromyelitis optica spectrum disorders (視神経脊髄炎における抗補体C1q抗体の病態との関わり)
甲第1076号	博士(医学)	河合 憲一	平成30年3月25日	Suppression of aortic expansion and contractile recovery in a rat abdominal aortic aneurysm model by biodegradable gelatin hydrogel sheet incorporating basic fibroblast growth factor (ラット大動脈瘤モデルにおけるBasic Fibroblast Growth Factor含浸ゼラチンハイドロゲルシートによる拡大抑制と収縮能回復に関する検討)
甲第1077号	博士(再生医科学)	岡本 千尋	平成30年3月25日	Excessively low salt diet damages the heart through activation of cardiac (pro) renin receptor, renin-angiotensin-aldosterone, and sympatho-adrenal systems in spontaneously hypertensive rats (極端に少ない塩分食が心臓に与える影響-心臓のプロレニン受容体, RAS, 交感神経副腎系から考察-)

表彰受賞者

平成 30 年度電気化学会論文賞 受賞

受賞者：杉浦 隆 工学部教授

論文名：Microwave-assisted Hydrothermal Synthesis of Structure-controlled ZnO
Nanocrystals and Their Properties in Dye-sensitized Solar Cells

受賞日：平成 30 年 3 月 10 日

Journal of Chemical Engineering of Japan Outstanding Paper Award of 2017 受賞

受賞者：上宮 成之 工学部教授

論文名：Effect of Co-products on Pd Membrane Performance in Membrane Reforming of
Desulfurized Kerosene

受賞日：平成 30 年 3 月 15 日

Journal of Chemical Engineering of Japan Outstanding Paper Award of 2017 受賞

受賞者：宮本 学 工学部准教授

論文名：Effect of Co-products on Pd Membrane Performance in Membrane Reforming of
Desulfurized Kerosene

受賞日：平成 30 年 3 月 15 日

産官学連携の実施状況

○共同研究

(平成30年3月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
工学部	藤田 廣志	アイテック(株)
工学部	河瀬 順洋	(株)豊田自動織機
工学部	大野 敏	ホーユー(株)
工学部	上坂 裕之	(株)アールシーロゴ
工学部	田村 哲嗣	(株)リコー
工学部	尹 己烈	DOWA ホールディングス(株)
工学部	速水 悟	(株)セイノー情報サービス
工学部	今井 敬吾	東海旅客鉄道(株)
医学系研究科	下畑 亨良	小野薬品工業(株)/新潟大学
応用生物科学部	早川 享志	サンエイ糖化(株)
応用生物科学部	西津 貴久	イビデン物産(株)
応用生物科学部	西津 貴久	日本水産(株)
応用生物科学部	西津 貴久	亀田製菓(株)
医学部附属病院	五島 聡	(株)根本杏林堂
工学部	山田 貴孝	イビデン(株)

メディア掲載一覧

○新聞

(平成30年3月分)

掲載日	新聞名	内容
3月1日	中日	岐阜大と災害時協力で協定 ミニストップ全国初 ～森脇久隆 学長～
3月1日	岐阜	岐阜大とミニストップ 災害連携協定を締結 ～森脇久隆 学長～
3月1日	岐阜	岐阜地域産学官連携交流会 ～工学部 山本秀彦 教授～
3月2日	岐阜	放射性物質に理解 特別講座 穂積北中生が受講 ～教育学部理科教育講座 中村 琢 准教授～
3月2日	朝日	朝日医療シンポジウム～高齢化・災害大国 日本 東海の地域医療の可能性～ ～医学部附属病院 小倉真治 病院長～
3月3日	中日	「豊かな村」予算考えて 東海財務局 岐阜大付属小生に授業 ～教育学部附属小学校6年3組～
3月4日	読売	◎病院の実力～岐阜編 121：不整脈 心房細動 多い無症状 ～医学部附属病院～
3月4日	中日	◎学び舎の空から：岐阜大付属小 学年別に「経営」活動 大学の先生の協力 人間力高める指導 ～教育学部附属小学校～
3月4日	中日	お金の知識 正しく広報 大藪さん、葛西さん表彰 ～教育学部大藪千穂 教授～
3月4日	中日	手話主体学校 理事長が講座 岐阜高専同窓会
3月4日	中日	地域でICT活用を 野田総務相が講演
3月4日	読売	「地方でICT有効」 野田総務相が講演
3月4日	朝日	ICT活用の地域貢献語る 岐阜で野田総務相
3月5日	岐阜	◎教えてホームドクター：基底細胞がん 頻度高いが転移まれ 進行遅く、外科的治療で完治 ～医学部附属病院皮膚科 松山かなこ 臨床講師～
3月5日	日本経済	ドクターカー 消防署から出動 医師が本部に常駐 岐阜大病院と市 ～医学部附属病院～
3月6日	毎日	中学生、防災士に 輪之内中授業で資格講座 災害時の避難所リーダー育成へ
3月6日	中日	国公立大 3253人門前払い
3月6日	岐阜	2次門前払い 岐阜大は371人 国公立大の中・後期
3月6日	毎日	国公立大の中・後期 3253人が門前払い
3月6日	岐阜	◎研究室から大学はいま：新たな世界史像を構築へ ～地域科学部 地域文化学科 加藤公一 講師～

3月7日	中日	やったー 770人が合格 岐阜大の入学試験前期
3月7日	岐阜	「あった」笑顔満開 岐阜大で合格発表
3月8日	読売	岐阜大・ミニストップ協定 災害時に相互協力 ～森脇久隆 学長～
3月8日	岐阜	柳ヶ瀬活性化へ"続投" ご当地タレントのゆっこさん講演 メディア通じ魅力紹介 ～大学院地域科学研究科 ゆっこさん～
3月9日	岐阜	◎ちほ先生が見た岐阜人の不思議③：笑い ワンテンポ遅れる反応 ～教育学部 大藪千穂 教授～
3月10日	岐阜	◎東日本大震災7年：「活断層密集地・岐阜」意識を 杉戸岐阜大副学長に聞く ～杉戸真太 副学長～
3月11日	岐阜	◎分水嶺 ～杉戸真太 副学長～
3月11日	中日	「私の人生, 岐阜大とともに」 湊口教授が最終講義 ～医学部長・医学系研究科長 湊口信也 教授～
3月13日	中日	キャラも活用 啓発に尽力 自覚症状なく進行「慢性腎臓病」 検査の重要性訴え ～医学部附属病院 村田一知朗 特任准教授～
3月13日	岐阜	国公立大入試の後期日程始まる
3月13日	岐阜	◎研究室から大学はいま：血管の老い抑え長生きに ～医学部附属病院高次救命治療センター 岡田英志 講師～
3月16日	岐阜	若者から見た岐阜 やながせさん意見 サロン九条例会 ～大学院地域科学研究科 ゆっこさん～
3月17日	岐阜	◎ゆっこコラム：住民主体で郡上を再生 郡上カンパニーディレクター 平野彰秀さん ～大学院地域科学研究科 ゆっこさん～
3月17日	岐阜	県内就職を推進, 人材育成活動 岐阜大「S」ランク獲得 ～地域科学部3年 橋本実紅さん～
3月17日	中日	ドクターカー 消防に常駐待機 119 即速医師発信 ～医学部附属病院～
3月18日	岐阜	"水抜き"準備不足? 岐阜大准教授 「生息状況 十分に把握を」 ～地域科学部 向井貴彦 准教授～
3月18日	岐阜	法教育作文コンクール 入賞の8人を表彰 ～毎日新聞社賞 教育学部附属小学校5年 若原千大さん～
3月18日	中日	地方創生推進 岐阜大がS評価 ～地域科学部3年 橋本実紅さん～
3月19日	中日	小倉病院長に聞く サービス向上に成果 岐阜大付属病院 今月末で退任 ～医学部附属病院 小倉真治 病院長～
3月20日	岐阜	◎研究室から大学はいま：食道がんの最新の治療法 ～医学部附属

		病院腫瘍外科 田中善宏 講師～
3月22日	日本経済	名大・岐阜大 法人統合へ 来月から協議 少子化受け経営改革
3月22日	朝日	名大, 法人統合検討へ 東海地方の他国立大と
3月22日	中日	地元産品 売れ筋発掘 十六銀と中日本高速 岐阜大生交え商談会
3月22日	中日	名大・岐大 法人統合へ 運営を効率化, 協議開始 大学名, 学部は変わらず
3月23日	朝日	岐大病院新院長決まる ～医学系研究科腫瘍外科学分野 吉田和弘教授～
3月23日	岐阜	◎ちほ先生が見た岐阜人の不思議④: 岐阜弁 かわいい言葉, ほっこり ～教育学部 大藪千穂 教授～
3月23日	日本経済	名大・岐阜大 運営統合協議 大学 本格再編促す 40年度 定員10万人過剰
3月23日	毎日	名大, 運営統合協議へ 東海地方の国立大 岐阜大は参加の意向
3月23日	朝日	名大, 法人統合を検討 東海地方の国立大と
3月23日	中日	名大と法人統合の岐阜大学長 よしあし「検討する」
3月23日	岐阜	名大と岐阜大協議へ 東海の国立大 法人統合構想 経営効率化が目的
3月24日	岐阜	◎ゆっコラム: 護国之寺で彫刻に没頭 仏像彫刻家 廣瀬有香 ～地域科学研究科 ゆっこさん～
3月24日	中日	地域活性 学生の活動紹介 岐阜大でシンポ「明るい未来へ貢献したい」 ～「地(知)の拠点整備事業(COC)」～
3月24日	岐阜	演劇的世界観で映画再生 トリュフォーら7監督論まとめる 「ヌーヴェル・ヴァーグの世界劇場」出版 ～教育学部 矢橋 透 教授～
3月24日	岐阜	抗がん剤治療, 成果報告 大学病院講師ら 下呂で全国研究会 ～医学系研究科 吉田和弘 教授～
3月25日	産経	書評:『ヌーヴェル・ヴァーグの世界劇場』矢橋透著 監督たちの旺盛な活動追う ～教育学部 矢橋 透 教授～
3月25日	岐阜	国立大再編 理想型探る 法人統合構想 岐大: 効率化で研究力向上 名大: トップへ競争力強化
3月25日	岐阜	地域が元気になるには? 「仲間と課題解決を」 岐阜大 草野満代さんらシンポ
3月25日	岐阜	◎みんなで防災・減災: 長い目で見た地震の備えを ～清流の国ぎふ防災・減災センター副センター長/地域減災研究センター長 能島暢呂 教授～

3月26日	中日	岐阜大で学び糧に 卒業式 1872人が新たな一歩
3月26日	岐阜	次世代を担う決意 岐阜大, 1872人が卒業式
3月26日	岐阜	◎教えてホームドクター：発達障害③ 社会適応 有利な例も ～ 医学部附属病院 塩入俊樹 教授～
3月27日	岐阜	◎研究室から大学はいま：極長鎖脂肪酸の影響分析 ～生命科学総合研究支援センター 高島茂雄 助教～
3月27日	読売	遺伝子がん治療報告 下呂で研究会に 180人 ～医学系研究科 吉田和弘 教授～
3月27日	日本経済	大学病院 本で発信 治療内容や特色わかりやすく 「最先端の正しい情報を」 ～医学部附属病院 小倉真治 病院長～
3月28日	中日	がんゲノム医療 連携病院 100か所 厚労省公表, 来月始動 ～医学部附属病院～
3月28日	岐阜	遺伝子調べ治療選定「がんゲノム」 全国 111病院, 来月始動 ～医学部附属病院～
3月29日	中日	国立大交付金再配分 39大学に増額の評価
3月29日	毎日	原子力災害拠点病院 岐阜大病院を指定 県内初 ～医学部附属病院～
3月29日	岐阜	ドクターカー導入 岐阜大病院医師, 市消防に待機 ～医学部附属病院～
3月29日	中日	ド原子力災害拠点 岐大病院を指定 ～医学部附属病院～
3月29日	岐阜	交通事故や労災, 重症者対応 岐阜大病院に救急外傷部門 ～医学部附属病院～
3月29日	中日	ドクターカー 全国初 消防本部出動 「一人でも多く救いたい」 岐阜で開始式 ～医学部附属病院～
3月29日	毎日	ドクターカーお披露目 ～医学部附属病院～
3月29日	読売	ドクターカー運用開始 新年度 医師自ら出動判断 ～医学部附属病院～
3月30日	日本経済	歯髄細胞にゲノム編集 再生医療で拒絶反応抑制 ～医学系研究科 手塚建一 准教授～
3月30日	朝日	消防本部に医師待機 急行 119番内容吟味ドクターカーで 救急外傷部門を新設 ～医学部附属病院～
3月30日	中日	救急外傷センターに県指定 死亡者の低減目指す ～医学部附属病院～
3月30日	岐阜	岐阜大病院長に吉田氏 ～医学系研究科 吉田和弘 教授～
3月30日	岐阜	「最高の病院」へ奮闘 医師負担軽減 患者待ち時間も短縮 小倉

		岐阜大病院長が退任 ～医学部附属病院 小倉真治 病院長～
3月30日	朝日	朝日医療シンポジウム ～高齢化・災害大国日本 東海の地域医療の可能性～ ～医学部附属病院 小倉真治 病院長～
3月30日	中日	若手医師 年俸制に 岐大病院, 人材確保へ処遇改善 ～医学部附属病院～
3月31日	日本経済	「アプリよりあえて手書きで...」家計簿カミ技進化 高い一覧性／共働き対応 ～教育学部 大藪千穂 教授～

○テレビ・ラジオ・雑誌等

(平成30年3月分)

放送日	番組名	内容
3月5日	ぎふチャン 17:40～ 「お茶の間ステーション 2時6時」	『減災ラジオ』 外出先での地震 ②備えておくべきこと 地域減災研究センター長 能島暢呂 教授
3月6日	テレビ朝日 21:54～ 「報道ステーション」	「Muse細胞、急性心筋梗塞への治験開始」 医学系研究科 湊口信也 教授
3月7日	NHK 総合 4:30～8:00 「おはよう日本」	急性心筋梗塞への治験開始について 医学系研究科 湊口信也 教授
3月14日	CBC テレビ 16:50～19:00 「イッポウ」	次世代地域リーダー育成プログラム「産業リーダー 実践」受講学生
3月18日	NHK 総合 8:00～8:25	「ぎふスペシャル 岐阜のギモンを解き明かせ！」 教育学部 山田敏弘 教授
3月26日	ぎふチャン 17:40～ 「お茶の間ステーション 2時6時」	『減災ラジオ』 大地震への備え ①心構え 地域減災研究センター長 能島暢呂 教授

平成29年度(秋季)岐阜大学大学院入学者選抜試験結果

研究科	課程	専攻	募集人員	募集単位	志願者数	受験者数	合格者数	追加合格者数	入学者数
					総数	総数	総数	総数	総数
医学系研究科	博士	医科学		1次-10月入学-D	1	1	1		1
		医科学		2次-10月入学-D	1	1	1		1
		医科学		3次-10月入学-D	1	1	1		1
		小計			3	3	3		3
研究科合計					3	3	3		3
工学研究科	博士後期	生産開発システム工学		秋季入学	3	3	3		3
		物質工学			1	1	1		1
		電子情報システム工学			4	4	4		4
		環境エネルギーシステム			2	2	1		1
		小計			10	10	9		9
後期合計					10	10	9		9
研究科合計					10	10	9		9
自然科学技術研究科	修士	生命科学・化学		AGP留学生-秋季入学	1	1	1		1
		生物生産環境科学			2	2	2		2
		環境社会基盤工学			2	2	2		2
		物質・ものづくり工学			1	1			
		エネルギー工学			1	1	1		1
		小計			7	7	6		6
研究科合計					7	7	6		6
連合農学研究科	博士	生物環境科学		2次-10月入学-D	1	1	1		1
		生物資源科学			2	2	2		2
		小計			3	3	3		3
		生物生産科学		英語特別プログラム	1	1	1		1
		生物資源科学			3	2	2		2
		小計			4	3	3		3
		生物生産科学		外国人特別-秋季入学	4	4	4		3
生物資源科学			6	6	6		6		
小計			10	10	10		9		
研究科合計					17	16	16		15
連合獣医学研究科	博士	獣医学(応用連合講座)		秋季入学	2	2	1		1
		獣医学(臨床連合講座)			6	6	6		6
		小計			8	8	7		7
研究科合計					8	8	7		7
連合創薬医療情報研究科	博士	医療情報学		外国人特別-秋季入学	1	1	1		
		研究科合計			1	1	1		
計					46	45	42		40

平成30年度一般入試結果(前期・後期日程)

教育学部

課程	講座等	前後期の別	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	手続後の辞退数	追加合格者数	入学者数
学校教育教員養成課程	国語教育	前期	19	75	73	21	19	0	0	19
	社会科教育		28	138	128	35	34	0	0	34
	数学教育		16	41	41	18	18	0	0	18
	理科教育		20	67	61	22	19	1	0	18
	音楽教育		8	17	16	9	8	0	0	8
	美術教育		6	19	13	8	8	0	0	8
	保健体育		7	71	64	7	7	0	0	7
	技術教育		6	14	12	7	6	0	0	6
	家政教育		8	41	39	9	9	0	0	9
	英語教育		14	53	51	16	16	0	0	16
	学校教育 心理学コース		10	50	48	11	11	0	0	11
	学校教育 教職基礎コース		7	38	38	8	8	0	0	8
小計	149	624	584	171	163	1	0	162		
特別支援学校教員養成課程	一		15	41	41	17	16	0	0	16
前期計			164	665	625	188	179	1	0	178
学校教育教員養成課程	国語教育	後期	5	109	60	6	6	0	0	6
	数学教育		8	79	39	8	6	0	0	6
	理科教育		16	173	68	21	18	0	0	18
	音楽教育		4	33	15	5	5	0	0	5
	保健体育		7	174	109	9	9	0	0	9
	技術教育		4	30	18	5	4	0	0	4
	家政教育		4	54	22	4	4	0	0	4
	英語教育		10	162	59	10	9	0	0	9
	学校教育 心理学コース		5	60	28	5	4	0	0	4
	学校教育 教職基礎コース		4	48	24	4	2	0	0	2
小計	67	922	442	77	67	0	0	67		
特別支援学校教員養成課程	一		5	42	24	6	5	0	0	5
後期計			72	964	466	83	72	0	0	72
学部計			236	1,629	1,091	271	251	1	0	250

地域科学部

学 科	前後期の別	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	手続後の辞退数	追加合格者数	入学者数
地域政策学科/地域文化学科	前期	60	242	231	66	66	1	0	65
	後期	21	308	137	25	19	0	0	19
学部計		81	550	368	91	85	1	0	84

医学部

学 科	前後期の別	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	手続後の辞退数	追加合格者数	入学者数
医学科 看護学科	前期	32	388	336	32	31	0	1	32
		47	143	134	52	50	0	0	50
前期計		79	531	470	84	81	0	1	82
医学科 看護学科	後期	35	898	185	35	33	0	2	35
		20	184	77	22	21	0	0	21
後期計		55	1,082	262	57	54	0	2	56
学部計		134	1,613	732	141	135	0	3	138

工学部

学 科	コース	前後期の別	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	手続後の辞退数	追加合格者数	入学者数	
社会基盤工学科	環境コース	前期	13	60	56	15	15	0	0	15	
	防災コース		13	59	57	14	14	0	0	14	
機械工学科	機械コース		37	146	137	45	44	0	0	44	
	知能機械コース		23	95	89	29	27	0	0	27	
化学・生命工学科	物質化学コース		39	125	119	50	46	0	0	46	
	生命化学コース		30	147	140	44	40	0	0	40	
電気電子・情報工学科	電気電子コース		34	138	136	39	38	0	0	38	
	情報コース		32	147	137	37	36	0	0	36	
	応用物理コース		11	40	36	14	12	0	0	12	
前期計			232	957	907	287	272	0	0	272	
社会基盤工学科	環境コース		後期	14	123	73	17	14	0	0	14
	防災コース			14	112	62	17	12	0	0	12
機械工学科	機械コース	37		255	150	42	41	0	0	41	
	知能機械コース	23		133	84	24	22	0	0	22	
化学・生命工学科	物質化学コース	39		214	121	46	36	0	0	36	
	生命化学コース	30		260	129	34	28	0	0	28	
電気電子・情報工学科	電気電子コース	35		185	116	39	36	0	0	36	
	情報コース	32		244	142	34	32	0	0	32	
	応用物理コース	11		51	31	15	9	0	0	9	
後期計		235		1,577	908	268	230	0	0	230	
学部計		467		2,534	1,815	555	502	0	0	502	

応用生物科学部

課 程・学 科	前後期の別	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	手続後の辞退数	追加合格者数	入学者数
応用生命科学課程 生産環境科学課程 共同獣医学科	前期	54	92	85	63	56	1	0	55
		50	127	116	54	54	0	0	54
		26	121	115	28	28	0	0	28
前期計		130	340	316	145	138	1	0	137
応用生命科学課程 生産環境科学課程	後期	10	129	47	16	15	1	0	14
		10	92	38	14	11	0	0	11
後期計		20	221	85	30	26	1	0	25
学部計		150	561	401	175	164	2	0	162

前期合計	665	2,735	2,549	770	736	3	1	734
後期合計	403	4,152	1,858	463	401	1	2	402
合計	1,068	6,887	4,407	1,233	1,137	4	3	1,136

平成30年度入学者選抜結果(推薦入学Ⅱ特別入試)

教育学部

課程	講座等	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
学校教育教員養成課程	社会科教育(史学)	2	8	8	2	2
	社会科教育(地理学)	2	1	1	1	1
	社会科教育(現代社会)	4	2	2	1	1
	美術教育	4	4	3	3	3
	保健体育	2	7	7	2	2
学部計		14	22	21	9	9

地域科学部

学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
地域政策学科/地域文化学科	10	42	41	10	10

医学部

学科	出願対象者	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
医学科	一般枠	15	18	18	15	15
	地域枠	28	33	33	28	28
学部計		43	51	51	43	43

工学部

学科	出願対象者	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
社会基盤工学科	環境コース	普通科・理数科	2	4	4	2	2
		工業に関する学科	学科で 2	1	0	0	0
	防災コース	普通科・理数科	2	5	5	2	2
機械工学科	機械コース	普通科・理数科	5	18	16	5	5
		工業に関する学科	学科で 2	1	1	0	0
	知能機械コース	普通科・理数科	3	6	6	3	3
化学・生命工学科	物質化学コース	普通科・理数科	6	5	5	2	2
		工業に関する学科	学科で 2	0	0	0	0
	生命化学コース	普通科・理数科	4	14	12	4	4
電気電子・情報工学科	電気電子コース	普通科・理数科	5	5	5	2	2
		工業に関する学科	学科で 3	0	0	0	0
	情報コース	普通科・理数科	5	15	13	5	5
		工業に関する学科	0	2	2	2	2
	応用物理コース	普通科・理数科	2	3	3	2	2
	工業に関する学科	0	0	0	0	0	
学部計		43	79	72	29	29	

応用生物科学部

課程	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
応用生命科学課程	10	16	16	10	10	
生産環境科学課程	10	33	31	10	10	
共同獣医学科	4	35	32	4	4	
学部計		24	84	79	24	24

合計	134	278	264	115	115
----	-----	-----	-----	-----	-----

平成30年度入学者選抜結果(推薦入学Ⅰ特別入試)

地域科学部

学科	出願対象者	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
地域政策学科/地域文化学科	専門学科・総合学科	6	20	20	8	8

医学部

学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
看護学科	10	47	47	10	10

応用生物科学部

課程	出願対象者	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
応用生命科学課程	専門学科・総合学科	3	7	7	3	3
	SSH・理数科	3	6	6	1	1
生産環境科学課程	専門学科・総合学科	5	5	5	5	5
	SSH・理数科	5	14	14	5	5
学部計		16	32	32	14	14

※出願対象者欄の"SSH"は、スーパーサイエンスハイスクール指定校を略。

合計	36	32	99	99	32	32
----	----	----	----	----	----	----

平成30年度入学者選抜結果(特別入試 社会人)

学 部	学 科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	追加合格者数	入学者数
地域科学部	地域政策学科/地域文化学科	2	0	0	0	0	0
医学部	看護学科	3	5	4	0	0	0
合 計		5	5	4	0	0	0

平成30年度入学者選抜結果(特別入試 帰国生)

学 部	学 科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	追加合格者数	入学者数
地域科学部	地域政策学科/地域文化学科	1	0	0	0	0	0
合 計		1	0	0	0	0	0

平成30年度入学者選抜結果(特別入試 私費外国人留学生)

学 部	学 科・課 程	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	追加合格者数	入学者数	
教育学部		若干名	0	0	0	0	0	
地域科学部	地域政策学科/地域文化学科	若干名	25	22	5	0	3	
医学部	医学科	若干名	2	2	1	0	1	
工学部	社会基盤工学科	若干名	環境コース	1	1	0	0	0
			防災コース	0	0	0	0	0
	機械工学科		機械コース	2	2	0	0	0
			知能機械コース	5	5	1	0	0
	化学・生命工学科		物質化学コース	1	1	1	0	1
			生命化学コース	1	1	0	0	0
	電気電子・情報工学科		電気電子コース	0	0	0	0	0
			情報コース	6	5	0	0	0
			応用物理コース	1	1	0	0	0
学部計			17	16	2	0	1	
応用生物科学部	応用生命科学課程	若干名	4	4	3	0	2	
	生産環境科学課程		2	2	1	0	0	
学部計			6	6	4	0	2	
合 計			50	46	12	0	7	

平成30年度入学者選抜結果(政府派遣留学生)

学 部	学 科・課 程	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	追加合格者数	入学者数	
工学部	社会基盤工学科	—	環境コース	1	1	1	0	1
			防災コース	1	1	1	0	1
	機械工学科		機械コース	1	1	1	0	1
			知能機械コース	0	0	0	0	0
	化学・生命工学科		物質化学コース	0	0	0	0	0
			生命化学コース	0	0	0	0	0
	電気電子・情報工学科		電気電子コース	0	0	0	0	0
			情報コース	0	0	0	0	0
			応用物理コース	0	0	0	0	0
合 計			3	3	3	0	3	

平成30年度入学者選抜結果(編入学)

学部	学科・課程等	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	追加合格者数	入学者数		
地域科学部	地域政策学科/地域文化学科	10	39	36	12	0	10		
医学部	1次	看護学科	5	5	0	0	0		
	2次		0	0	0	0	0		
	学部計		10	5	5	0	0	0	
工学部	推薦	社会基盤工学科	環境コース	約20名	2	2	2	0	2
			防災コース		4	4	4	0	4
		機械工学科	機械コース		5	5	5	0	5
			知能機械コース		2	2	1	0	1
		化学・生命工学科	物質化学コース		0	0	0	0	0
			生命化学コース		1	1	1	0	1
		電気電子・情報工学科	電気電子コース		2	2	0	0	0
			情報コース		4	4	4	0	4
		応用物理コース	0	0	0	0	0		
	小計			20	20	17	0	17	
	一般	社会基盤工学科	環境コース	約10名	4	4	2	0	2
			防災コース		8	6	5	0	3
		機械工学科	機械コース		13	13	8	0	6
			知能機械コース		7	6	5	0	2
		化学・生命工学科	物質化学コース		7	6	3	0	1
			生命化学コース		1	1	0	0	0
		電気電子・情報工学科	電気電子コース		36	30	2	0	0
			情報コース		17	14	5	0	0
		応用物理コース	1	1	1	0	0		
	小計			94	81	31	0	14	
オープン プログラム	社会基盤工学科	防災コース	若干名	6	6	1	0	1	
	機械工学科	機械コース		7	7	2	0	2	
	小計				13	13	3	0	3
学部計			30	127	114	51	0	34	
応用生物科学部	応用生命科学課程	5	18	17	5	2	5		
	生産環境科学課程	5	15	15	5	1	5		
	学部計		10	33	32	10	3	10	
合計			60	204	187	73	3	54	

平成30年度大学院入学者選抜結果

研究科・専攻(定員)	課程	専攻	募集人員	募集単位	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
教育学研究科 教職実践開発専攻 (25) 心理発達支援専攻 (10) 総合教科教育専攻 (34)	専門職学位 (教職大学院)	教職実践開発	25	1次	10	10	10	8
			—	2次	16	16	16	15
		小計	25		26	26	26	23
	修士	心理発達支援	10	1次	23	21	10	4
		総合教科教育	34		40	39	34	27
小計		44		63	60	44	31	
心理発達支援		若干名	2次	1	1	0	0	
	総合教科教育	若干名	2次	4	4	3	3	
	小計			5	5	3	3	
	研究科合計		69		94	91	73	57
地域科学研究科 地域政策専攻 (12) 地域文化専攻 (8)	修士	地域政策	12	1次	2	2	2	2
		地域文化	8		11	11	6	6
		小計	20		13	13	8	8
		地域政策	若干名	2次	7	6	4	3
		地域文化	若干名		15	14	9	9
	小計			22	20	13	12	
	研究科合計		20		35	33	21	20
医学系研究科 看護学専攻 (8)	修士	看護学	8	1次	2	2	2	2
			若干名	2次	2	2	2	2
		小計	8		4	4	4	4
医科学専攻 (47)	博士	医科学	47	1次	8	8	6	6
				2次	13	13	10	10
				3次	6	6	6	5
	小計	47		27	27	22	21	
再生医科学専攻 (6)	博士後期	再生医科学	6	1次	0	0	0	0
				2次	1	1	1	1
				3次	1	1	1	1
	小計	6		2	2	2	2	
	研究科合計		61		33	33	28	27
工学研究科 生産開発システム工学専攻 (7) 物質工学専攻 (3) 電子情報システム工学専攻 (4) 環境エネルギーシステム専攻 (13)	博士後期	生産開発システム工学	7	1次	2	2	2	2
		物質工学	3		0	0	0	0
		電子情報システム工学	4		2	2	2	2
		環境エネルギーシステム	13		1	1	1	1
		小計	27		5	5	5	5
	修士	生産開発システム工学		2次	9	9	9	9
		物質工学			1	1	1	1
		電子情報システム工学			2	2	2	1
		環境エネルギーシステム			9	7	7	7
		小計			21	19	19	18
	研究科合計		27		26	24	24	23
自然科学技術研究科 生命科学・化学専攻 (82) 生産環境科学専攻 (44) 環境社会基盤工学 (29) 物質・ものづくり工学 (67) 知能理工学 (81) エネルギー工学 (72)	修士	生命科学・化学	16名程度	推薦	24	24	24	24
		生物生産環境科学	14名程度		9	9	8	7
		環境社会基盤工学	11名程度		13	13	13	13
		物質・ものづくり工学	23名程度		24	24	24	24
		知能理工学	36名程度		36	36	36	35
		エネルギー工学	26名程度		27	27	27	26
		小計	126		133	133	132	129
		生命科学・化学	66名程度	1次	97	96	89	78
		生物生産環境科学	30名程度		38	37	35	31
		環境社会基盤工学	18名程度		40	38	37	24
		物質・ものづくり工学	44名程度		82	82	76	69
		知能理工学	45名程度		76	76	71	58
	エネルギー工学	46名程度		81	78	70	58	
	小計	249		414	407	378	318	
	生命科学・化学	若干名	2次	3	3	3	3	
	生物生産環境科学	若干名		9	9	8	8	
	環境社会基盤工学	若干名		3	3	2	2	
	物質・ものづくり工学	若干名		3	3	2	2	
	知能理工学	若干名		4	4	4	4	
	エネルギー工学	若干名		5	5	3	3	
	小計			27	27	22	22	
	生命科学・化学		5 AGP留学生春季	1	1	1	1	
	物質・ものづくり工学			2	2	2	2	
知能理工学			1	1	1	1		
エネルギー工学			4	4	4	4		
小計			8	8	8	8		
生物生産環境科学	2	DDP	2	2	1	1		
	研究科合計		375		584	577	541	478

連合農学研究科 生物生産科学専攻 (7) 生物環境科学専攻 (5) 生物資源科学専攻 (8)	博士	生物生産科学	7	1次	1	1	1	1
		生物環境科学	5		1	1	1	1
		生物資源科学	8		8	8	8	8
		小計	20	10	10	10	10	
		生物生産科学	募集人員は	2次	1	1	1	1
		生物環境科学	1次に含ま		7	5	5	4
		生物資源科学	れる		2	1	1	1
		小計		10	7	7	6	
		生物生産科学	募集人員は	英語特別プログラム	1	1	1	1
		生物環境科学	1次に含ま		4	4	2	2
生物資源科学	れる	2	2		2	2		
小計		7	7	5	5			
研究科合計		20	27	24	22	21		
連合獣医学研究科 獣医学専攻 (20) 獣医学専攻 (20)	博士	獣医学(応用連合講座)	6	1次	1	1	1	1
		獣医学(臨床連合講座)			1	1	1	1
		小計		2	2	2	2	
		獣医学(病態連合講座)		2次	1	1	1	1
		獣医学(臨床連合講座)			4	4	4	4
		獣医学(臨床連合講座)			4	4	4	4
小計		9	9	9	9			
研究科合計		6	11	11	11	11		
連合創薬医療情報研究科 創薬科学専攻 (3) 医療情報学専攻 (3)	博士	創薬科学	3	1次	1	1	1	1
		医療情報学	3		1	1	1	1
		小計	6	2	2	2	2	
		創薬科学	若干名	2次	3	3	3	3
		医療情報学			0	0	0	0
小計		3	3	3	3			
研究科合計		6	5	5	5	5		
合計			584	815	798	725	642	

※ 募集人員の研究科合計及び合計の数値は、募集人員の合計値ではなく、「入学定員」の合計値を示す。

平成30年度岐阜大学公開講座の実施計画

講座名	開催期間	時間帯	受講対象者	募集人員	講習料	実施部局
2018 見る・考える・創る「形と数」の教室 ーキミは数学イノベーター！ー	6/9(土)、8/10(金)、 12/8(土)	9:30~12:30	小学校5年生~中学校1年生までの児童及び生徒(引率保護者1名の参加も可能)	40	無料	教育学部
親子天文教室	4/29(日)、7/29(日)、 11/11(日)、2月中旬	17:30~20:30	小中学生とその保護者	各20組	無料	
昆虫教室	5/6(日)、7/22(日)	9:00~12:00	小学生とその保護者	各20組	無料	
大学生と学ぶ恐竜学入門	10/28(日)	13:30~15:00	小学生とその保護者	10組	無料	
【重点講座(ものづくり)】 デッサン講座	8/19(日)、12/2(日)	9:00~12:00、 13:00~16:00	中学生・高校生	各20	無料	
地域科学部の授業Ⅱ	10/13(土)、 10/20(土)、10/27(土)	13:00~16:30	市民一般(高校生を含む)	100	無料	地域科学部
応用生物科学部 中学生のための体験科学講座	10/13(土)	13:00~16:30	中学生	24	無料	応用生物科学部
家庭菜園の基礎 ー理論と実際ー	4月~1月	10:00~12:00	一般市民	30	10,600	
食べられる生命 ー肉と卵と牛乳の科学と実際ー	4月~1月	13:00~16:00	一般市民	20	7,600	
農福連携のための農業技術講習	4月~1月	9:00~16:00	障がい者福祉施設関係者ならびに一般市民	20	7,600	
味噌作り	4月~1月	13:00~15:30	一般市民	10	5,600	
【重点講座(環境・ものづくり)】 「森で遊ぼう~2018夏~」	7/7(土)	9:30~14:00	小学生と保護者	15組	500	
【重点講座(環境)】 『肥料と育て方の工夫で野菜をおいしく作る話』	9/22(土)	12:45~17:00	一般市民・学生	60	無料	連合農学研究科
先端を行く連合創薬医療情報研究科	11月	13:00~17:00	受験希望者、一般市民	100	無料	連合創薬医療情報研究科
生命科学研究がもたらすもの ー最新の研究の紹介ー(仮)	10月~11月	13:00~16:00	学生、一般市民	36	無料	研究推進・社会連携機構 (研究推進部研究推進課)
生涯学習の今日的意義と課題(8) ー今、生涯学習に求められるものー	12/9(日)	13:30~16:30	生涯学習・社会教育関係職員・社会教育主事施設・公民館主事等学習施設の職員・ボランティア指導者・一般住民・学	20	5,600	地域協学センター

平成29年度岐阜大学公開講座の実施結果

講座名	開催期間	時間帯	受講対象者	募集人員	受講者数	講習料	実施部局
2017 視る・考える・創る「形と教」の教室ーキミは数学イノベーター！ー	4/22 (土)、5/13 (土)、6/17 (土)、8/11 (土)、9/16 (土)、10/21 (土)、12/9 (土)	9:30~12:30	小学校5年生~中学校1年生までの児童及び生徒(引率保護者1名の参加も可能)	40人	274人	無料	教育学部
親子天文教室	5/7 (日)、8/27 (日)、11/26 (日)、2月未定	17:30~20:30	小中学生とその保護者	20組	57人	無料	教育学部
昆虫教室「わくわく、びっくり!昆虫探検」	5/7 (日)、7/23 (日)	9:00~12:00	小学生とその保護者	20組	63人	無料	教育学部
大学生と学ぶ恐竜学入門	10/29 (日)	13:30~15:00	小学生とその保護者	10組	18人	無料	教育学部
子どもデザイン教室1「ステンドグラス風飾りづくり」	4/16 (日)	13:00~16:00	小学生・中学生	30人	21人	無料	教育学部
子ども造形教室1「木のパズルづくり」重点講座(ものづくり)	4/30 (日)	10:00~15:00	小学生(中・高学年)・中学生	20人	17人	無料	教育学部
子ども色彩教室「カラフル・パズル」	5/21 (日)	13:00~16:00	小学生・中学生	30人	31人	無料	教育学部
子ども版画教室1「ステレンでアート」	6/4 (日)	13:00~16:00	小学生・中学生	30人	35人	無料	教育学部
子ども絵画教室「絵の具でアート」	7/2 (日)	13:00~16:00	小学生・中学生	30人	34人	無料	教育学部
子ども造形教室2「土の造形」重点講座(環境)	7/16 (日)	10:00~15:00	小学生・中学生	24人	30人	無料	教育学部
子どもデザイン教室2「モザイク・タイル」重点講座(ものづくり)	8/6 (日)	13:00~16:00	小学生・中学生	30人	22人	無料	教育学部
子ども造形教室3「へら押しレリーフづくり」重点講座(ものづくり)	8/27 (日)	13:00~16:00	小学生・中学生	24人	20人	無料	教育学部
子どもデザイン教室3「ふしぎな生きもの」	9/17 (日)	13:00~16:00	小学生・中学生	30人	24人	無料	教育学部
美術教育講座	8/13 (日)~12/17 (日)	9:00~17:00	中学生・高校生	20人×4コース=80人	32人	無料	教育学部
地域科学部の授業	10/14 (土)、10/21 (土)、10/28 (土)	13:00~16:30	市民一般(高校生を含む)	100人	190人	無料	地域科学部
応用生物科学部 中学生のための体験科学講座	10月または11月の土日で1日開催	13:00~16:30	中学生	24人	26人	無料	応用生物科学部
家庭菜園の基礎ー理論と実際ー	4/1 (土)~1/31 (水)	10:00~12:00	一般市民	30人	31人	10,600円	応用生物科学部
食べられる生命ー肉と卵と牛乳の科学と実際	4/1 (土)~1/31 (水)	13:00~16:00	一般市民	20人	6人	7,600円	応用生物科学部
【岐阜大学重点講座(環境)】『野生生物と環境』	10/21 (土)	12:45~17:00	一般市民・学生	60人	87人	無料	連合農学研究科
先端を行く連合創薬医療情報研究科	1月~3月(予定)	午後	受験希望者、一般市民	100人	65人	無料	連合創薬医療情報研究科
生命科学研究がもたらすもの(仮)	10/1 (日)~11/30 (木)	13:00~16:00	学生、一般市民	36人	33人	無料	生命科学総合研究支援センター
生涯学習の今日的意義と課題(7)ー今、生涯学習に求められるものー	11/26 (日)	13:30~16:30	生涯学習・社会教育関係職員・社会教育主事施設・公民館主事等学習施設の職員・ボランティア指導者・一般住民・学生等	20人	13人	5,600円	地域協学センター

◇第606回 役員会

3月1日(木)

(議事)

1. 平成30年度分教員人事について
2. 教育職員雇用申請について
3. 特任教員雇用申請について
4. 岐阜大学フェロー候補者の推薦について

◇第11回 部局長・部長会

3月1日(木)

(協議事項なし)

◇第11回 授業編成専門委員会

3月5日(月)

(審議事項)

1. 岐阜大学全学共通教育事科目に関する規程の一部改正について
2. 岐阜大学教育推進・学生支援機構教養教育推進部門推進費の配分基準の一部改正について

◇第11回 岐阜大学グローバル推進本部会議

3月14日(水)

(議題)

1. アッサム大学(インド)との学術交流協定の締結について

◇第607回 役員会

3月15日(木)

(議事)

1. 第3回同窓会連合会会長表彰について
2. 名誉教授の選考について
3. 平成30年度分教員人事について

第168回 教育研究評議会

3月15日(木)

【審議事項】

1. 学生の不幸事について
2. 国立大学法人岐阜大学と学校法人岐阜済美学院中部学院大学・中部学院大学短期大学部との大学間協定の締結について
3. 機能強化の取組状況について
4. 新学部設置準備室の構成員について
5. 平成30年度計画(案)について
6. 学則、大学院学則及び運営組織規則の一部改正について
7. 内部統制推進体制の見直しについて

8. 職員就業規則等の一部改正について
9. 平成30年度学内予算(案)について
10. 経営協議会学外委員について
11. 名誉教授の選考について
12. 監査室員の推薦について

◇第608回 役員会

3月15日(木)

(議事)

1. 機能強化の取組状況について

◇第13回教学委員会

3月19日(月)

(審議事項)

1. 教育推進・学生支援機構関係規則, 学務関係規則の改正について
2. 平成29年度学生表彰(学業成績表彰)について
3. 学業成績優秀者の表彰について
4. 平成30年度応援奨学生について

◇第609回 役員会

3月22日(木)

(議事)

1. 寄附講座の設置及び雇用申請について
2. 岐阜大学多様性人材活力推進行動計画の一部改正について
3. 平成30年度分教員人事について
4. 教育職員雇用申請について
5. 特任教員雇用申請について

◇第86回 経営協議会

3月27日(火)

(審議事項)

1. 平成30年度計画(案)について
2. 学則, 大学院学則及び運営組織規則の一部改正について
3. 内部統制推進体制の見直しについて
4. 職員就業規則等の一部改正について
5. 役員の給与に関する取扱要項の制定について
6. 平成30年度学内予算(案)について
7. 平成30年度資金運用方針(案)について
8. 役員給与について
9. 監査室員の推薦について

◇第9回 入学試験専門委員会

3月28日(水)

(審議事項)

1. 教育学部推薦入学Ⅱ特別入試入学者選抜基準の一部改正(案)について
2. 大学院自然科学技術研究科入学者選抜基準の一部改正(案)について
3. インターネット出願について

◇第610回 役員会

3月29日(木)

(議事)

1. 特任教員雇用申請について
2. 平成30年度計画(案)について
3. 学則, 大学院学則及び運営組織規則の一部改正について
4. 内部統制推進体制の見直しについて
5. 役員給与等について
6. 職員就業規則等の一部改正について
7. 平成30年度学内予算(案)について
8. 平成30年度資金運用方針(案)について

主要日誌

月 日	行 事 名
3/ 1	第606回 役員会 第11回 部局長・部長会
2	業務改善報告会
5	第11回 授業編成専門委員会
7	国際シンポジウム(連農)
13	連合大学院学位記授与式
14	第11回 岐阜大学グローバル推進本部会議
15	第607回 役員会 第168回 教育研究評議会 第608回 役員会
19	第13回教学委員会
20	ランチタイムセミナー
22	第609回 役員会
23	公開講座「ミツバチと病気」(連獣)
25	学位記授与式
26	げんさい楽座
27	第86回 経営協議会 横山理事最終講話(人材開発部)
28	ドクターカー運用開始式(附属病院) 第9回 入学試験専門委員会
29	永年勤続者表彰 第610回 役員会